

情報デザイン実践事例

盛岡情報ビジネス専門学校

授業展開手法

- ・ 題目/テーマ設定
- ・ グループニング
- ・ 評価方法

題目/テーマ設定

- ・学生になじみのあるもの
- ・地域に関連するもの
- ・実在の商品/企業を利用
- ・毎回異なるテーマ

映像作品のストーリー作成

グループピング

- 役割の違いから学生の特性を見極める
- グループ間の能力差での解法を見つける
- 様々な分野との協働に対する適応力

評価方法

- ・状況判断
- ・積極性
- ・創造性
- ・応用力
- ・達成度
- ・分析力
- ・理解度
- ・チームワーク

授業展開後の学生の変化

- ・学生が自主的に運営できる
情報デザインの手法を身に付けることによって様々な話し合いの場に活用できる

- ・学生自身が自分の資質が理解できる

情報デザイン手法の演習中に学生の強みや弱みを学生自身が気づき自身の進路決定の段階でよい影響が見えた

- ・退学者の減少

入学時より継続して実施し頻繁にグループを組み替えることによって様々な人と話すことができるようになり自分の悩みや相談をすることで退学者の減少

授業展開後の学生動向

- ・他学科/他分野との連携

他学科との企画開発や外部企業、機関との協働を行う際のスムーズな連携

- ・就職先企業の要求に対する対応

資格、専門知識、専門技能から人間性変わった

情報デザインはモノ・コト・ヒトにつながる